岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川　沼田川水系　栃木川　通常砂防事業に伴う設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	切土B-3	調査位置	広島県東広島市河内町	北緯	34° 30' 43.0679"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和4年 1月25日～ 令和4年 2月 2日	東経	132° 48' 26.8697"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 230.03m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	13.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-0型
					エンジン：ヤンマーNFD10　ポンプ：東邦製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
	229.39	0.64	SF	表土	暗茶							表土。砂とシルトが主体で，径2mm程度の細礫を含む。木の根，草根を混入する。
1～10				玉石混じり細礫	暗茶～青灰							径7cm以上の硬質な玉石と，軟質でゆるい砂と細粒分から主に構成される堆積物層。玉石は一部風化し変色しているものもあるが，ほとんどが未風化で新鮮である。 3.58～4.00m　最大の玉石。長さ42cm。 5.45m付近　草根混入。 8mの貫入試料は採取されなかった。
	219.80	10.23		風化花崗岩	茶褐～褐灰～青灰	w4 / w3	h3 / h2	D / C	V / Ⅲ	d / c	D / CL	粗粒部と細粒部を繰り返す花崗岩。 10.23～11.20m　比較的硬質な細粒部と，風化が進行しコア芯部まで茶褐色化している粗粒部からなる。 11.20～13.00m　粗粒部が連続して確認される。12.45m以深は深度方向に細粒化する。潜在的な亀裂が多く，コアを揺すると亀裂が出現する。 12.00m以深　80度の高角な白色脈が発達している。脈自体は爪で削れるほど軟らかいが，周囲の岩は硬質である。
11～13	217.03	13.00										

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

孔内水位／測定月日：1/23 無し；1/26 1.34；2/1 4.30；1/27 4.97；1/28 6.15；2/2 6.97

標準貫入試験 深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	50	140	
	1.29			
6	2.15	6		
	2.45	300		
17	3.15	17		
	3.45	300		
50以上	4.15	50	30	
	4.18		30	
50以上	5.15	50	60	
	5.21		60	
50以上	6.15	50	270	
	6.42		270	
50以上	7.15	50	230	
	7.38		230	
50以上	8.00	50	100	
	8.10		100	
16	9.15	16		
	9.45	300		
50以上	10.00	50	230	
	10.23		230	
50以上	11.00	50	100	
	11.10		100	
50以上	12.00	貫入不能		
50以上	13.00	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		1/25	71.00	66／ケーシング	ダブル／ライナ	0	160			
		1/26	83.00			0	160	0	W3 10	1
		1/27	71.00							
		1/28	40.00							
		2/1	17.00	66	ダブル／ライナ	0	160			
		2/2	56.00			0	160			